

第4回苫小牧市中小企業振興審議会要旨

1 日 時 平成28年2月3日(水) 15:00～16:10

2 場 所 職員会館304号室

3 出 席

(1) 苫小牧市中小企業振興審議会委員

青山委員、秋山委員、岩佐委員、上木委員、川島委員、小玉委員、竹谷委員、伴辺委員、中條委員、西川委員、平井委員、丸山委員、吉川委員、渡辺委員

(2) 事務局(市)

前田産業経済部次長

商業観光課：河本課長、由利主査、銅主査、安藤主事、五十嵐主事

工業労政課：桜田課長、田嶋主査、佐藤主事、廣川主事

4 概要

(1) 開会

(2) 議事

① 部会及び勉強会の報告等について

▽委員(創業促進部会長)

- ・第3回創業促進部会を10月21日。任意の勉強会を12月16日に行った。
- ・勉強会は、日本政策金融公庫の担当者から創業実態についてお話をいただいた。
- ・市内の新規開業実績は、22年度から26年度まで、概ね20件前後が毎年創業しているという傾向にある。
- ・25年度と26年度の創業業種は、建設業、飲食業が安定しており、25年度は理美容が7件あった。26年度は介護・福祉関連事業が2件となっている。
- ・意見交換では、「民間金融機関との協調融資が出てきている」「若い人ほど自己資金が少ない」「地域貢献をしたいという理由で創業する方が増えてきている」などが最近の傾向としてある。
- ・中小企業実態調査(案)の項目については、平成26年度の実態調査では、創業にかかる調査項目が無かったが、中小企業振興において地域経済を担う新たな中小企業者を創出するというところで、今回新たに創業に関連した項目を追加している。

▽委員(人材育成・事業承継部会長)

- ・中小企業実態調査(案)の内容について、人材に関する調査という部分で議論した。
- ・横文字の部分を含弧で日本語訳にした。
- ・人材育成計画については、企業の実態を知るために何を調査しなければならないかということ考えた。
- ・人材育成方法については、企業によって求めていることが違うということを考えて質問項目を考えた。
- ・インターンシップの活用では、具体的な実態の把握ができるような質問にした。

- ・人材確保手段には、採用の部分で通常の新卒の人材確保という部分もあるが、Iターン・Uターンの採用も視野に入れられるのではないかとすることも考慮した。これは首都圏、都会から人を呼び込む必要があるのではないかとすることもあったので、追記している。
- ・企業の理念については、経営方針という言葉に言い換えた。
- ・後継者不在の場合の事業継承の方法として、株式譲渡、M&A、事業の引き継ぎ、法人個人によるコンペ方式を行うなどの議論になったので、回答を掘り下げた質問となっている。
- ・高校生のアンケートは、現段階では行わない方向となった。

▽委員（販路拡大・需要開拓部会長）

- ・市内の食品製造・加工・販売等を行っている事業所42社に販路拡大に関するアンケートを行い、結果について12月に勉強会を実施して議論した。
- ・アンケート結果は、回答が28社、うち1社は営業を停止していたので、有効なデータは27社。
- ・売り上げ傾向について聞いたところ、12社が増加傾向、横ばい傾向が10社減少傾向は5社という回答。
- ・増加傾向の会社に売上を伸ばすために行っていることの調査をしたところ、12社全ての会社が、商品やサービスの研究・改善を行っていた。
- ・販路拡大における支援策については、27社中21社があれば使いたいということ回答。中には、支援に頼らず独自でやっていくという会社もあった。
- ・どのような支援策を望んでいるかという質問には、商品・サービスのPRに関する支援が一番多く、次に、展示会への出展経費の助成だった。
- ・今後も27社とは繋がっていきたいので、御協力をお願いしたところ、23社から協力をしていただけるという回答をいただいた。
- ・売上傾向別でクロス分析を行った。
- ・苫小牧市中小企業実態調査（案）の検討は、販路拡大・需要開拓部会では大きくは取り上げていない。問1と問2が、売上及び営業利益に関係すること、あるいは市場について求めていること。問22は、製造業を営まれている事業所に販路拡大に関するアンケートと同じ設問、支援策を聞いている。

○各委員からの意見等

▽会長

- ・創業促進の部分で、若い方の自己資金が足りないということは、試算したが資金が全然及ばないのか。もう少しのところなのか、その度合いを知りたい。

▽委員

- ・そこまで押さえていないが、一般的に当然若い方の創業なので自己資金の用意が難しいのではないかとこのところ。

▽委員

- ・創業の理由で、儲けることとは違って、地域貢献がしたいということは、資金が足りないということと絡んでくるのかと思うが、これは若い人たちのことか。

▽委員

- ・例えば福祉関連等というのは、地域貢献になってくる。そういった需要が非常に多くなってきている。

○中小企業実態調査について

▲事務局

- ・「1. 会社概要」のあとに、「調査は下記のとおり」という説明があるので、順番を入れ替えて、1番上に説明、次に「1. 会社概要」という順で調査をスタートする。
- ・営業利益の理由について、コスト面の削減又は増により利益に繋がるという選択もあることから、(1)、(2)に選択を追加する。
- ・横ばい傾向の理由についても、(1)、(2)と同様に掘り下げる。
- ・問23の職場体験の受け入れは、人材育成調査項目の問16「職場体験項目」があるので、問16の後に追加する。

▽委員

- ・回答欄に数字を選んで書くより、チェックをつけられるようなかたちにした方が、書き込みやすい箇所もある。

▽委員

- ・職場体験の部分で、職場体験可能時間もあるといいのではないか。

▽委員

- ・項目が複数あった方がいい箇所がある。貴社の経営に関する調査の問2(1)、問3の企業間取引状況と(1)。
- ・創業に関する調査の問9に、親族を入れてはどうか。

▽委員

- ・創業の問9で、創業する時にどこに相談したかで、相談した順番で書いてもらった方がいいのではないか。

○資料3及び資料4について説明

- ・人口と産業従業員数の比較について説明。
- ・平成27年度創業サポート事業の結果について説明。

▽委員

- ・創業サポート事業は今年度開始した事業か。⇒ その通り。(事務局)
- ・創業後のフォローアップは考えているか。⇒ 商工会議所と連携して今後考えていきたい。(事務局)

▽委員

- ・創業10人、21%というのは多いほうなのか。⇒ 他市と比較すると多いと感じている。(事務局)

▽委員

- ・サービス業が一番多く従事している。その中でどんな業種が多いのか。⇒ 調査してから回答したい(事務局)

▽委員

- ・創業サポート事業の10件の選定は、どんな理由で決めたのか。⇒ 3回のセミナー終了後、それぞれ締め切りを設定した。2回目終了後は枠が2件しかないので、3回目のみ先着順とした。(事務局)

○苫小牧市中小企業振興に関する計画について説明

- ・中小企業振興に関する計画の策定は本市において必要と考えている。資料5を基に調べていただいて、次の審議会で御意見をいただきたい。

(3) その他

なし

(4) 閉会

- ※ 審議会終了後、創業促進部会、人材育成・事業承継部会、販路拡大部会をそれぞれ開催し、16時10分～17時15分頃まで行われた。